

兼城 昌山



兼城 昌山

「旅」

兼城 昌山

「豊」

概要

氏 名 兼城 昌山 (かねしろ・しょうざん)  
(本名) 兼城 昌邦 (かねしろ・まさくに)  
住 所 熊本市稗田町1-22  
主な活動地 熊本県内

特別賞

兼城昌山氏は、長年にわたって本県書道界の第一人者として活躍されている書家です。昭和五年（一九三〇年）五月十日の生まれ。全国的な展覧会等で作品が高い評価を受けるとともに、後進の指導・育成にも熱心に取り組まれており、本県書道界の発展のために指導的役割を果たされています。

沖縄県那覇市出身で、第二次大戦中に熊本に疎開、人吉高校を経て熊本大学熊本師範学校を卒業のち、教職の傍ら昭和三十年代半ばから書家としての活動を開始されました。

熊日書道展を皮切りに、日展や毎日書道展など全国的な展覧会において活躍されてきた兼城氏の作風は、豪放な大胆さとおおらかさを特色としており、一文字や少ない文字数にもなる書作品は、中国の古代文字や象形文字から示唆された豊かな造形性に満ちています。

昭和二十九年から熊日書道展で委嘱作家（招待作家）となられるとともに、第二十二回毎日書道展（昭和四十五年）でのクマングリ毎日賞受賞や、日展での入選等を評価されて、毎日書道展審査員や東京書道会評議員等を歴任されました。

また熊本県書道連盟理事長（平成九〜十五年）、熊本県書道連盟会長（平成十五年〜現在まで）、熊本県文化協会副会長（平成十六〜二十年）など、本県の文化団体の要職を務められ、本県文化の振興に大きく貢献されています。

## これまでの活動歴

昭和三十五年	第一回熊日書道展で県知事賞受賞 (漢字の部で第一席)
昭和三十七年	第三回熊日書道展で県知事賞受賞 (漢字の部で第一席)
昭和三十九年	第五回熊日書道展で 委嘱作家（招待作家）となる
昭和四十四年	改組第一回日展で入選
昭和四十五年	第二十二回毎日書道展で公勢の クマングリ毎日賞受賞
昭和四十九年	第六回日展で入選
昭和五十六年	第十二回日展で入選
昭和五十七年	第一回熊日新人・学童書道展審査員 (現在まで)
昭和五十九年	毎日書道展審査員 熊本県芸術文化振興会の評議員・ 審査委員を経て監事（現在まで）
昭和六十一年〜平成七年	毎日女流書展の運営委員・審査委員
平成七年	第四十七回毎日書道展審査員に就任
平成九〜十五年	熊本県書道連盟理事
平成十五年〜	熊本県書道連盟会長（現在まで）
平成十六〜二十年	熊本県文化協会副会長